

平成30年度第1回放送番組審議会 議事録

会 議 名	平成30年度 第1回 放送番組審議会
日 時	平成30年6月8日(金) 18:00 ~ 19:00
場 所	竹原商工会議所 小会議室
出 席 者	委 員 会 : 森木副委員長・有田委員・柄崎委員・北丸委員・國兼委員 豊政委員・用田委員・吉近委員・和久利委員 タ ネット : 近藤取締役・中野取締役・吉原制作部統括責任者 《撮影 加藤》 事 務 局 : 岡取締役・三國 以上 15名

内 容

冒頭、近藤取締役より挨拶があった。
森木副委員長の挨拶に続いて議事へ進出した。

議 事

1) 前回の審議会での意見に対する経過報告

制作部統括責任者 吉原より報告をした。

審議テーマ 生ニュース番組『タネットニュースLIVE』（11月16日、21日放送分）

《審議番組についての意見》

- ・ アナウンサーの話すスピードが速すぎて高齢者(タネット利用者の45.3%が70代以上)にとっては聞き取りにくい。
⇒ 作成する原稿の長さ、映像VTR、アナウンサーの話す速度など、全体的に余裕を持たせた番組作りを心掛けている。
- ・ 市内の交通ニュース、事故があれば名前は出さなくてもいいので注意喚起のためにも取り入れてほしい。
⇒ 市内で発生した交通死亡事故現場の現地検討会を取材し、事故の詳細を放送する中で、アナウンサーによる事故防止に関する注意喚起を行なった。
今後も、竹原警察署と連携し交通関連のニュースを引き続き取り上げていく。
⇒ 先日、郵便局前の電線開閉器故障により1時間の停電があり、竹原市の業務が2時間停止した。マスコミ等でも取り上げられたが、市民の安心、安全、財産を守るという大きな役割を担う中で大変問題がある。タネットも竹原市総務部長に取材申込みをし、スタジオに来ていただき、今回の経緯、原因、今後の対策について放送をした。少し辛口の番組になるが、こういったことも取上げていく。今回の取材により竹原市の防災体制が非常に不備であることがわかった。正すべきところは正すと言った意味でも竹原にとって必要なことであり、そして、タネットの重要な使命である。
知りたいこと、知ってほしいことを放送していきたい。
- ・ 他の地区でどういう人がどんな活躍をしているのか知りたい。
⇒ 現在、企画書を出し検討中。
- ・ 聖恵文化祭の告知について場所の案内がなかった。
「いつ」・「どこで」・「なにが」あるのかの情報を押さえて放送するべき。
⇒ 5W1Hは徹底して盛り込む。今後開催場所案内などの詳細情報を記していく。
- ・ 内容的にタネットライブラリーとの差別化が無いような気がする。
⇒ ニュースLIVEで出せなかった映像を使うように気をつける。

- ・あまりにも再放送が多いとLIVEの良さが伝わらなくなるのではないかと。
⇒ 再放送をリクエストする方も増えていることも考慮し、現在は、週2回のニュースLIVEを、週末にまとめて放送するようにした。

2) 審議テーマ 7月放送予定の新番組『はじめよう脳活』について

制作部統括責任者 吉原より番組企画の説明後、放送予定分のVTRを放映。

その後、審議委員より以下の意見や感想が出された。

- ・画面が2つに分かれてどちらを見れば良いのか集中が出来ない。
- ・食材表記の表示時間が短く食材のメモがとれないので、入手方法の情報があれば良い。
- ・『もしカメ』のワンフレーズ毎に『ゲー』と『パー』の動作を変えるシーンがあるが、注意して見ていないとわからない。説明のポイント表示方法もわかりやすくなっていけば良い。
- ・4動作のところ、やっている人は右、左だけど、見ている人は逆の動作である。脳トレだから鏡映しではなくそのまま放送しているのか。
- ・足踏み動作をしている映像が無いので、どんな足踏みをしているのかわからない。
- ・また、右、左のところは文字の色を変えると良い。
- ・「俳句を考えて投稿をしましょう」というのはいいことだが、投稿先がわからない。
- ・こういう企画をしてくれて良かった。
- ・番組内に4フレーズあり、それぞれに説明があるが覚えきれない。
高齢者には難しく、次に期待を持たせるように4回に分けて放送してはどうか。
- ・文字を目で追うのではなくて、アシスタントを入れてはどうか。
- ・放送の時間帯が10時と17時予定とあるが、お仕事をされている人もいるので、夜の時間にも放送をしてはどうか。
- ・自信があったけれど自分でやってみると難しかった。
やっていくうちに達成感もでてきて自信もついてくるので、ヤル気が出てくる。
- ・手の動作が変わるタイミングがわかりづらい。
- ・発案はどこからか。
ひとつの福祉施設だけではなく、竹原市内の他の福祉施設にも話をしておく方が良いのではないかと。
次にどこが出すのかということが頭に浮かんだ。
- ・企画そのものは時代に合っているが、12分間に詰め込み過ぎている為、シンプルにしてはどうか。
- ・文字情報も良いが、アシスタントが必要と思う。
- ・俳句は季語があるが、川柳とか5・7・5のもっと考えやすいものにして募集をしたら面白いと思う。
- ・最初に見て出来ないとつまづいて見なくなるので、もっと簡単なものから放送してみてもどうか。
- ・説明の仕方が難しい。『実行機能の低下』とあるが、もっと身近なことで説明をしてはどうか。
- ・画面の文字と人が来ているシャツの柄で文字が見えにくい。
- ・初期の認知症の人は自分の出来ない事を否定するので、詰め込み過ぎると覚えるのに難しくひとつずつ分けて放送をしてはどうか。
- ・バックの色が場面が変わる毎にきちんと変えておりわかり易くて良かった。
- ・テロップを入れていたことは良かったが、動作をしている人と画面内の文字表示が同じ比率なのでどちらかに引っ張られてしまいがちになってしまう為、人の後ろ又は画面の端に文字が入る程度でも良いのではないかと。

- ・ 切磋琢磨をするという意味でもいろんな福祉施設等でやってもらってはどうか。
- ・ 回復率とか食材についても何の文献、出典元であるかの表示を入れると良い。
- ・ 地域包括ケアシステムの取り組みの一環であるという位置づけを市でもやってみてはどうか。
ケーブルメディアを生かして先行事例としてやってほしい。

3) 視聴者アンケート調査結果について

事務局 岡および制作部統括責任者 吉原より報告をした。

- ・ タネット番組の放送時間の問い合わせが多い為、放送時間の確定化をし月間番組表を作成して公民館等に置かせていただき、文字放送の中では、週間番組表を作成し告知している。
- ・ 繰返し放送が多いという指摘については、タネット独自の番組を増やし、他局の番組は一ヶ月単位で放送をしていたが、今後は一週間単位で交代をして放送をする。
- ・ 議会中継については、決算特別委員会を収録中継で放送をする。

審議委員より以下の意見や感想が出された。

- ・ 繰返し放送が多くしつこい。
- ・ 議会中継は、再放送をするのが早くて良い。
- ・ 視聴者を集めるという努力の姿が見られない。入っている人は皆見ているというような感覚に見える。より多くの皆さんに見てもらおう為にも、事件や事故など、地元のテレビだから地元のことをもう少し発信した方がみんなが関心を持つ。注意喚起を促すためにも身近な問題も放送してほしい。

4) タネットに対するご意見要望、その他

- ・ 竹まつりで頼山陽踊りを踊っていた子どもは、タネットチャンネルに一瞬しか映らないが、それ以上の時間をかけて練習をしている。表舞台だけではなく練習をしている裏舞台も放送してほしい。
- ・ ニュース番組の告知をFacebookにあげているが、週間番組表にリンクを張り、他の情報、番組にも繋がっていくようにしてはどうか。
- ・ 毎年5月に行なわれる忠海高等学校ロウボート大会や竹原市都市整備課がしていた内堀公園での催物をタイムリーに取上げ放送をしているところが良い。
- ・ 特定の事故を取上げるのは難しいと思うので、事故の多い場所、蓋然性みたいなものを警察の方から注意喚起してもらおう放送をしてはどうか。
- ・ 決算特別委員会について、収録したものを放送するのであれば、議会の構造を知らない市民の皆さんがいると思うので、どんな位置づけになっているのかわかるように図や表で説明をしたうえで委員会の放送をしてはどうか。
また、議会に向けて市民の皆さんが前もって議員さんにいろんな意見を託しておくことが出来るもっと議会が活性化できるのではないかと。
- ・ 卒業式や入学式の放送をしているが、クルーの人でセンスやスキルに差がある為、ローテーションをして撮影編集をするとか、撮ってこられた素材を用いて職場内でのスーパーバイズとかOJTなどの工夫をしてもらおうとバラツキが無くなるのではないかとと思うので配慮してほしい。
⇒ スキルもあるが、撮影後に各学校にチェックをしてもらい、その中でカットせざるを得ない場合がある。

番組審議委員の皆さんからどんな小さなことでも良いので情報を教えてほしい。

以上